

日独シュタットベルケ協カプロジェクト
～ファクトファイディングミッション in ドイツ～
2018年4月23日～26日

1. 目的

日本で将来的にシュタットベルケを成功させるために、ドイツのシュタットベルケの知見・経験を学ぶ。また、日本の現状について、ドイツ側にインプットし、ドイツシュタットベルケからアドバイスを受ける有効な分野・事項について明らかにする。

2. スケジュール

日時	内容
23日（月） 午前 午後	<p>ワークショップ（オスナブルック市）</p> <p>オスナブルック市とオスナブルック都市公社の環境エネルギー戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> - オスナブルック市の環境エネルギー政策 - オスナブルック都市公社の再生可能エネルギー促進戦略 - オスナブルック都市公社の電気自動車に関する戦略 - シュタットベルケの新設 — テッケンバーガーランド都市公社の事例 <p>視察1 シュタットベルケの視察（木チップボイラー、省エネオフィス）</p> <p>視察2: パッシブハウスの学校</p> <p>視察3: 公営プール（バイオマス熱供給 by 都市公社）</p>
24日（火）	<p>ワークショップ（カッセル市）</p> <ul style="list-style-type: none"> - ヴッパータール気候・環境・エネルギー研究所：「シュタットベルケの現状と新設の日独比較」 - ドイツ都市公社連盟：「シュタットベルケによる地域発展やエネルギー転換に対する貢献」 - 小田原市長：「小田原市の地域エネルギー自給への道」 - Fulda-Eder Energien都市公社アライアンス設立の経緯と目標 - Stadtwerke Union Hessenの都市公社アライアンスの再生可能エネルギー戦略」

	<ul style="list-style-type: none"> - Trianel社のビジネスモデル - ヘッセン州経済エネルギー省：「市民のエネルギー協同組合によるネットワーク戦略」
25日（水）	<p>フライブルク市とヴォーバン住宅地の視察</p> <ul style="list-style-type: none"> - フライブルク市の交通計画・都市計画 - 市民参加 - 省エネ建築 - 車の静音化、緑化による、住環境、商業環境の改善 - フライブルク市のシュタットベルケ（住宅・建設公社とエネルギー上水道三セク）の役割
26日（木） 午前 午後	<p>ボデンゼー湖 視察</p> <ul style="list-style-type: none"> - Bioenergiedorf Buesingen 村の太陽熱と木質バイオマスによる地域熱供給施設 - Randegg 村の地域熱供給施設 <p>ワークショップ（ソーラーコンプレックス社の本社）</p> <ul style="list-style-type: none"> - ソーラーコンプレックス社（2030年に地元を再エネ100%地域とすることを目的とした会社）の事業戦略 - 都市公社連盟バーテンビュルテンブルク支部：「シュタットベルケの現状と展望」